

時間割コード	G2B40810	開講年度	2026				
授業題目	国際教養B				担当教員	松岡 幸司	
英文授業名	International Liberal Studies (B course)					浜野 充	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	全
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				・グローバル社会で必要とされる能力について理解できるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業は、事前に履修内容が定まってはいない。通常の学期始まりの履修登録とは異なり、下記（８）履修上の注意に示す通り、「国際共修ガイダンス資料」の要領に沿って、履修申請書等の必要書類をそろえて、7月末もしくは12月末までに本科目副担当教員まで提出する。7月末の申請を前期履修、12月末は後期履修として登録する。 海外での広範な活動成果を履修希望者からの申請に基づき、活動(履修)の内容・時間数、難易度等が“国際教養”として、本学の他の授業レベルに相等するか否かを個別に評価した上で、その達成度に応じて合否を判定し、合格者に対して単位認定をする。 従って、留学先の大学、語学学校、カルチャースクール等で履修した実績などを単位取得の有無に関わらず申請可能であり、また、複数の授業科目、実績等を組合わせて申請することも可能である。						
(5)授業のキーワード	広範な海外活動、達成度、グローバル人材育成、単位認定						
(6)授業計画	海外留学・海外体験などの海外活動の終了学期 または次学期に下記の資料を揃え、副担当教員（浜野 充：共通教育第1講義棟・南校舎2階）に提出し、事前確認を受ける。7月末までの申請を前期の履修、12月末までの申請を後期の履修として受け付ける。事前確認を終えた申請書は副担当教員から共通教育窓口に出提出される。 ・国際教養履修申請書 ・申請書に記載されている添付書類一式（活動(履修)の内容・時間数等を証する書類、単位取得証明書、修了証など） ・その他、授業担当教員から指示のある資料等						
(7)成績評価の方法	海外での広範な活動成果に対して個別に評価を行う。評価は、秀・優・良・可・不可ではなく、【合格】・【不合格】の2段階とする。						
(8)成績評価の基準	海外での諸活動に参加し、90時間以上の学習活動が実施され、成果を上げたことを証明するに足る添付書類が整っている場合は合格とする。 （eALPSの共通教育の中に設定されている「国際教養A」、「国際教養B」に掲載される国際教養ガイダンス資料、申請書様式を参照のこと）						
(9)事前事後学習の内容	各海外活動に関するガイダンス受講、留学先に関する予備学習で「事前学習」、報告レポートにより「事後学習」とする。						
(10)履修上の注意	*本科目の履修登録は、通常の学期始まりの登録とは異なる。下記に示すガイダンス資料の要領に沿って、年に2回（7月末、12月末までに）必要書類をそろえ、本科目副担当教員まで提出すること。7月末までの申請を前期の履修、12月末までの申請を後期の履修として受け付ける（大学側で登録するので、学生においてキャンパス情報システムで履修登録する必要はない）。 eALPSの共通教育の中に設定されている「国際教養A」、「国際教養B」に掲載される国際教養ガイダンス資料を熟読し、申請書様式を参照の上、履修のこと。 本学に入学後の海外活動のみを対象とする。 国際教養A（2単位）と国際教養B（2単位）の両題目の単位取得が可能である。 国際教養Aは、前期および後期に開講されるが、いずれか一方のみしか単位取得ができない。国際教養B（2単位）も同様である。前期または後期にAとBの2題目を取得することも、Aを前期に、Bを後期にと分けて単位取得することも可能である。従って、国際教養A、B合わせて最大4単位まで取得可能となる。 本題目の履修は、各学部が設定する履修登録数の上限には含まれない。 本題目の成績が卒業・進級等に影響しないように履修すること。 本題目の単位を取得しようとする者は、海外渡航前に必ず「海外渡航届」の提出、海外保険への加入等を行うこと。また、申請に必要な書類、証明書(自身の活動を証明するもの)などを海外滞在中に確実に揃えておくこと。（帰国後の入手は困難と想定すること） 本題目の評価は、秀・優・良・可・不可ではなく、【合格】・【不合格】の2段階とする。						
(11)質問、相談への対応	副担当教員のグローバル化推進センター浜野 充にメールで問い合わせる。 メールアドレス：hamano_m@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席							

(13)授業に出席できない場合の学修の補充	
【教科書】	なし。
【参考書】	なし。